

UEDA MOVIE THEATER JOURNAL

vol.49 TAKE FREE

2021.SEP

9

上田映劇 ジャーナル

映画に演劇、美術や音楽
街のアートを楽しむための冊子
Movies, plays, art and music
Booklet for enjoying the art of the city



表紙切り絵 特集上映「ケリー・ライカートの映画たち 漂流のアメリカ」『ミックス・カットオフ』より

上田映劇 今月の PICK UP MOVIE

『日常対話』

【コラム】母と娘の 重い言葉 重い沈黙 文：田村志津枝

EIGEKI COLUMN, SHOP, BOOKS, ART WORKS, etc....

本誌に掲載されています上映、企画については、新型コロナウイルス等、その他諸事情により急遽中止・延期等させていただく場合がございます。その都度当館ホームページでお知らせ致します。あらかじめ、ご了承くださいませ。



PICK UP MOVIE



©Hui-Chen Huang All Rights Reserved.

日常対話

[2016年/台湾/台湾語・北京語/88分]
監督・撮影：ホアン・ファイチェン 製作総指揮：ホウ・シャオシェン

“カメラの前なら、「言える」「聞ける」こともある”
台湾発・娘がカメラを手に母の本音に迫る、入魂のドキュメンタリー



[解説] 台湾の女性監督ホアン・ファイチェンが自身に娘が誕生したことをきっかけに、ひとつ屋根の下で暮らしながら親子らしい会話のなかった母親と向き合うさまを、自らカメラをまわして記録した家族ドキュメンタリー。名匠ホウ・シャオシェン監督が製作総指揮を務めた。母の作る料理を食べること以外に何の接点もない、赤の他人のように暮らす母アヌと娘アチェン。チェンは勇気を出して母との対話を決意する。母本人のほか、親族、母のかつての恋人など、

身近な人へのインタビューや対話を通じて、元夫から受けたDV、同性愛者であることの思い、社会からの抑圧など、母アヌの苦悩が浮き彫りとなっていく。そして、チェン自身も過去と向き合い、心に秘めた思いを母に伝える。第67回ベルリン国際映画祭パノラマ部門でLGBTをテーマにした作品に贈られるテディ賞に輝き、第19回台北映画祭では最優秀ドキュメンタリー賞を受賞。2017年アカデミー外国語映画賞の台湾代表作品にも選出された。

[上映日程] 9/25~10/8 (休映：10/4)

上田映劇オープンダイアログ9月の対象作品です。
日程等詳細は、公式HPまたはSNS等でお知らせします。

母と娘の 重い言葉 重い沈黙

本作『日常対話』は、監督である娘アチェンが母親アヌとなんとか対話しようとして、撮影に踏み切った映画だ。家族だからこそ生じる感情のこじれはよくあることだが、それを乗り越えてそれぞれ望む人生を歩もうという強い意志に、感銘を受けた。

アヌは、若い頃から自分の恋愛対象は女性だと自覚していた。だが当時は、女が結婚もせず生きていくなど論外だった。世間の圧力もあって結婚したが、夫の暴力に耐え続ける悲惨な日々。アヌは幼い2人の娘をつれて家を出る。そして自分の人生を切り開いていく。

アヌの仕事は、葬式のときに死者の魂を極楽世界へ導く儀式を行うものだ。これは台湾固有の葬儀文化で、民間芸能のような体裁で口上を唱え、楽器を奏で、歌をうたい、軽業師のように踊る。総勢6人ほどの編成だ。アチェンは母親の仕事先に連れていかれるうちに、6歳ぐらいから自然にこの演舞をやるようになった。

台湾には多くの廟があり、仏教、道教をはじめ民間信仰の神仏が多数祀られている。それにまつわるさまざまな行事なども繰り広げられる。脱世俗と世俗がまじりあう独特の雰囲気があるが、この映画の主人公たちがそんな土着の宗教儀式に携わってきたというのも、作品に深い奥行きをもたらしていると思われる。

アチェンは10歳までしか学校には行けなかった。一方でアヌは、派手な恋愛遍歴を重ねて自分の人生を生きてきたが、反面で娘や世間に対して複雑な感情を抱いている。娘と母はしだいに心の底に秘めてきた思いを吐露していく。ひとつひとつの言葉が重い。

もうひとつ、この映画制作を可能にした台湾の社会的背景に触れておきたい。アチェンは映画制作を、1998年ごろから台湾各地に設立された生涯教育機関(社区大学)で学んだ。またLGBT関連などの社会活動にも参加してきた。周知のように、台湾はアジアで初めて同性婚を合法化し、ジェンダー平等ではアジアで第1位、世界で第6位だ。

tamura shizue
田村志津枝

ノンフィクション作家。一方で大学時代から自主上映や映画制作などに関わってきた。1977年にファスビンダーやヴェンダースなどのニュー・ジャーマン・シネマを日本に初めて輸入、上映。1983年からホウシャオシェンやエドワード・ヤンなどの台湾ニューシネマ作品を日本に紹介し、その後の普及への道を開いた。



告知 / 沖田修一監督 舞台挨拶決定！

『キツキと雨』、最新作の『子供はわかってあげない』の公開に併せて、沖田修一監督の舞台挨拶が決定しました！沖田監督には、こども映画教室の特別講師やうえだ城下町映画祭の舞台挨拶、その後も当劇場で作品が公開されるたびに何度も上田に足を運んでいただき、思いを寄せていただいています。

今回は10月に決定した2作の作品の公開に併せて、劇場にお越しいただけることになりました。毎回沖田ワールド全開で思わぬところでクスッと笑わせていただいています。今回は漫画が原作の作品とのことで、どんな世界が繰り広げられているのか、今から公開がとても楽しみです。

日時：10月2日（土）

詳細は決まり次第、公式HP等でお知らせします！



にちにおやつ なぎ 映劇出店のお知らせ

上田映劇に「にちにおやつ なぎ」さんがおやつの出張販売に来てくださることになりました。当日はなぎさんのつくる、乳製品・たまごを使わない身体にやさしいおやつが登場します！映画のお供にぜひどうぞ。

日時：9月20日（月・祝）、26日（日）

時間：11時～15時くらい



https://www.instagram.com/ninichioyatsu_nagi/



そうだ、今日は映画館に行こう！ 【うえだ子どもシネマクラブ】

学校に行きづらい、または行くのをやめてしまった子どもたちのための上映会【うえだ子どもシネマクラブ】。夏休みが明け、学校がはじまり、季節の変わり目で何かと身体が疲れ気味の日々かと思えます。そういう時は映画館にゆっくりしに来てください。映画をみなくても、カフェでゆっくり過ごすことも可能です。

- 9月13日（月）10:00～『漁港の肉子ちゃん』
13:30～『ベルヴィル・ランデブー』
- 9月27日（月）10:00～『マロナの幻想的な物語り』
13:30～『わたしはダフネ』

こちらの上映会は登録制になっています。詳細は劇場窓口または、NPO アイダオ (080-4813-1110) までお問い合わせください。



EIGEKI COLUMN

第46回

新しい扉の話



一本の映画との出会いで人生が変わったと言う人がたまにいるけれど、私はそういったことはあまり感じたり考えたりしたことがない。けれど最近、ある作品群を見て、言葉にまとめにくい何か決定的なものが自分にもたらされる経験をした。確実に、それを見る前と後では自分が違っているという、新しい扉を開けた感覚。

掻き立てられるように「ケリー・ライカートの映画たち 漂流のアメリカ」を見に行った。宣材を見て、すぐに行かなければと居てもたってもいられなくなってしまったのだ。まず初めに『ウェンディ&ルーシー』を見た。冒頭の、貨物列車が停車する寂れた街の実景を目にした瞬間から、自分の中にある様々な時間的感覚のかけらや記憶の断片がポポッと熱を帯びるような感じがした。ウェンディがはぐれてしまった愛犬ルーシーを探すために、チラシを街のいたるところに貼る場面で映る、時間が止まったような小屋の中の椅子、ただそれだけに深く深く胸を打たれた。夜中にルーシーの名前を呼びながら頼りない足取りで車の外へ出てくるウェンディ、その全部の感覚が私の身に訪れた。映画の登場人物に対して「これは私だ」と思うことはまず無いけれど、不覚にも私はこのとき、この画面に映っているもの全部が私の記憶の中にもあると思ってしまった。

『オールド・ジョイ』のラストシーン、細やかであるがかけがえのないひとときを過ごしたあとに訪れる、押しつぶされそうなほど静かな余韻。『ミックス・カットオフ』の、風に飛ばされた衣を追って干上がった湖の上を駆ける母親の、その運動。処女作『リバー・オブ・グラス』の挑発的な鮮度。映画の中にあるなにかも全てが完璧だった。

tsuruoka keiko

鶴岡 慧子 映画監督

長野県上田市出身。当劇場理事。

初長編作品『くじらのまち』が、PFF アワード 2012 においてグランプリ & ジェムストーン賞を W 受賞、その後世界各国の映画祭にて上映される。2015年『過ぐる日のやまねこ』で劇場デビュー。最新作は西加奈子の同名小説が原作の『まく子』。信濃毎日新聞「シネマ魅どころ」に映画評を隔週連載中。

第28回

ちょっとひと息



先日1回目のワクチン接種を受けました。副作用が心配でしたが、以前友人より腕がダルいだけ聞いていたのでそれほど心配はしていませんでした。ところが摂取後翌日には見事に微熱が出て、腕が痛く、その日は何も出来ず、早く休みました。翌日も調子が上がらず、その事を友人に伝えると若年層ほど副作用が出るみたいだから若い証拠！励まして頂きましたが、2回目の接種が微妙な気持ちになりました。1週間経った今も副作用なのか、とにかく腕がダルいです。しっかり解熱剤も処方して頂いたので、次は準備万端で臨みたいと思います。

残暑が厳しい今年の夏。上田の暑さも例年と比べて厳しいと伺いました。本来ならば、この時期、上田の子供達と一緒に演劇ワークショップを開催する予定でしたが、コロナ感染者拡大という事で延期になりました。上田への帰省も、もう少し先になりそうです。

先日、上田の友人から「うさぎや」さんの「くるみそば」が送られてきました。お店が閉店されることを聞き、友人がわざわざ送ってくれたのです。

「くるみそば」は、幼い頃から親しんできたお菓子で、宝塚にいるときも母からの荷物の中に必ず入っていたお菓子でした。寮の同室仲間とお茶を飲みながら頂いた思い出のあるお菓子でもあります。友人への土産にも持たせて頂きました。当時の宝塚は、非常に厳しい場所だったので、実家に帰ることは数年に一度でした。限られた場所、時間の中、うさぎやさんのお菓子を頂くことで、故郷に想いを馳せることができました。

うさぎやさんに、あらためて感謝いたします。ありがとうございました。

tsukikage hitomi

月影 瞳 元宝塚歌劇団・娘役トップスター

長野県上田市出身。上田市観光大使。当劇場理事。

1990年「ベルサイユのばら」で初舞台。入団2年目で新人公演、初ヒロインを演じる。1997年「誠の群像」で星組トップ娘役となる。その後雪組に組替えし引き続きトップ娘役としてミュージカルやショーなどで活躍する。2002年に「愛燃える/Rose Garden」で退団。退団後は舞台、コンサートや映画など、活躍の場を広げている。

vol.43

ピーよりディー 気持ちは $P \leq D$



監督志望の僕がプロデューサーになって、遂に9月の依頼がやって来た！喜び勇んでフジテレビに向かった。吉田修一さんの『東京湾景』を原作に、仲間由紀恵さんを主演にラブストーリーを作る！ぶっちゃけ、それまで本格的なラブストーリーをやりたいけど、なかなかそのチャンスに出会えなかった。フジテレビからは栗原美生子プロデューサーが立つ。しかし、話を聞くと栗原さんが原夏美というペンネームで脚本を書いているという。つまり、実質上、現場は自分がプロデューサーとして廻さなくてはならない。原作はレインボーブリッジを挟んで台場で働く女性と竹芝で働く男性のラブストーリーだったが、脚本は在日韓国人女性と日本人男性という設定に変更され、『冬ソナ』から始まった韓流ブームに乗った大胆な脚色になっていた。嫌な予感がしていた。プロデューサーが脚本を書いている。それはつまり、その脚本を誰も直せない、ということだ。内容はどんどん膨らみ、遂に最終回には韓国ロケまですることになった。フジの局制作ドラマは普段僕がやっているドラマより遥かに予算は高いが、流石に制作途中での赤字を算出したら、とんでもない額になっていた。それでも韓国ロケは決行すると上は言った。僕は、韓国に飛び、現地コーディネーターと共にロケ地の選定と交渉をした。その時、コーディネーターさんに言われたことを今でも思い出す。「モリヤシは本当の暗闇を体験したことがあるか？」と。兵役で灯りのない真っ暗な場所で見張り番をさせられ、月が翳った時、彼は本当の暗闇を体験したという。そんな話をしながら彼はビールに混ぜたソジュを飲ませてきて、僕はそのまま焼肉屋の座敷で気を失った。『冬ソナ』のパク・ヨンハさんもゲスト出演され、韓国ロケは大成功に終わり、栗原プロデューサーはアカスリに行って、お土産を買って、ニコニコだった。帰国して、編集されたドラマは無事最終回を迎えた。途中段階での赤字額から予想された数字はたぶん一億近いものだったはずだ。しかし、それは知らないうちに本当の暗闇に消えたのだろうか。それ以来僕は局制作のドラマをやっていない。(つづく)

moriya takeshi

森谷 雄 プロデューサー / 映画監督

愛知県生まれ。株式会社アットムービー代表。当劇場理事。「天体観測」(フジテレビ)、「ザ・クイズショウ」(日本テレビ)、「深夜食堂」(毎日放送)などのドラマをプロデュース。映画作品は『しあわせのパン』(三島有紀子監督)、『曇天に笑う』(本広克行監督)ほか多数。監督作品に『サムライ』がある。最新作は『ミッドナイトスワン』(内田英治監督)。

MONTHLY LINE UP



©2013 IFLL MOVIE LLC

愛のように感じた

[2013年/アメリカ/82分] 監督・脚本：エリザ・ヒットマン 出演：ジーナ・ピエルサンティ、ジオヴァーナ・サリメニ、ロナン・ルビンスタイン、ジェシー・コルダスコ、ニコラス・ローゼン、ケイス・プライム

『17歳の瞳に映る世界』でベルリン国際映画祭 銀熊賞を受賞したエリザ・ヒットマン監督が、14歳の少女の性と青春の刹那を描いた渾身の長編デビュー作

ブルックリン郊外で、14歳のライラは、親友のキアラとそのボーイフレンドのバトリックと一緒にビーチに出かける。イチャイチャするキアラとバトリックを眺めていたライラは、そばを通りかかった地元の大学生のサミーに一目で夢中になる。彼女はサミーが誰彼かまわず寝る男だと知り、あらゆる口実を作って近づこうとするが、背伸びして嘘を重ねるうち、思いもなかった状況に陥っていく…

[上映日程] 9/20~10/1

特集上映 ケリー・ライカートの映画たち 漂流のアメリカ

現代アメリカ映画の最重要作家ケリー・ライカートが紡ぐ、4つのロードサイド・ストーリー。アメリカン・ドリームが失われた世界にさすらう者たちの、語るに足る、ささやかな抵抗——。

自分と同じくらい孤独な他者とつながろうともがきながら、それぞれのユートピアを求めて、荒野を彷徨う登場人物たち。その過程で積み重ねられる、言葉にならなかった感情や何かが変わるはずだった行動、そのごこちない関係性の数々は、繊細で親密な手触りをもって、私たちの感性を深く揺さぶる——。

[上映日程] 9/18~10/1 (休映：9/21、27) [鑑賞料金] 通常通り * 本企画の鑑賞には回数券¥3,900がおすすです



© 1995 COZY PRODUCTIONS

リバー・オブ・グラス

2Kレストア版

[1994年/アメリカ/76分] 出演：リサ・ドナルドソン、ラリー・フェンデン、ディック・ラッセル

20代最後の年、故郷に戻ったライカートが、逃避行に憧れ、アバンチュールに憧れ、アウトローに憧れた、かつての思春期の自身に捧げた「ロードの無いロード・ムービー、愛の無いラブ・ストーリー、犯罪の無い犯罪映画」。撮影許可料が払えず、ゲリラ撮影で完成させた珠玉のデビュー作。



© 2008 Field Guide Films LLC

ウェンディ&ルーシー

[2008年/アメリカ/80分] 製作総指揮：トッド・ヘインズ 出演：ミシェル・ウィリアムズ、ウィル・パットン、ジョン・ロビンソン、ウィル・オールダム

ミシェル・ウィリアムズを主演に迎えた、一人と一匹の異色のパディが織りなす彷徨譚。ほぼ無一文のウェンディは、愛犬ルーシーと共に新しい生活を始めるため、仕事を求めてアラスカへと向かっている。しかし、途中オレゴンで車が故障。さらに警察に連行されてしまい、ルーシーは行方不明に……。世界の悲愴と個人の尊厳を描き切った代表作。



© 2005 Lucy is My Darling, LLC.

オールド・ジョイ

[2006年/アメリカ/73分] 音楽：ヨ・ラ・テンゴ 製作総指揮：トッド・ヘインズ 出演：ダニエル・ロンドン、ウィル・オールダム、ターニャ・スミス

もうすぐ父親になるマークは、ヒッピー的な生活を続ける旧友カートから久しぶりに電話を受ける。キャンプの誘い。ゴーストタウンのような町を出て、二人は、ポートランドの外れ、どこかに温泉があるという山へ向かう。ライカートの評価を一躍高めた2作目。



© 2010 by Thunderegg, LLC.

ミークス・カットオフ

[2010年/アメリカ/103分] 製作総指揮：トッド・ヘインズ 出演：ミシェル・ウィリアムズ、ゾーイ・カザン、ポール・ダノ、ブルース・グリーンウッド

アメリカのアイデンティティの根源たる西部開拓神話が、ライカートのオルタナティブな視点とスタイルによって見事に解体された歴史的一作。広大な砂漠を西部へと向かう白人の三家族は、近道を知っているという案内人ミークを雇うが、一向に目的地に近づく様子はない。道に迷った彼らを襲うのは飢えと互いへの不信感だった……。

映像作家・小森はるか 長編ドキュメンタリー作品集



(C) 2016 KASAMA FILM+KOMORI HARUKA

息の跡

[2016年/日本/93分] 監督・撮影・編集：小森はるか

今は昔、世界の果てに、小さなね屋があったとさ。陸前高田から届いた、忘れられない風景の記憶。映像作家・小森はるか、待望の劇場長編デビュー作。

津波で住宅兼店舗を流されてしまった佐藤さんは自力でプレハブを建て、種苗店の営業を再開した。看板は手書き、仕事道具も手作り、水は手掘りした井戸からポンプで汲みあげる。佐藤さんは、種苗店を営む一方で、自身の被災体験を独学で習得した英語でつづった本を自費出版し、中国語やスペイン語での執筆にも挑戦。さらに、地域の津波被害の歴史を調査し、過去の文献に書かれた内容が正しいものなのかを自力で検証していく。

[上映日程] 9/11~17 (休映：9/13)



(C) KOMORI HARUKA

空に聞く

[2018年/日本/73分] 監督・撮影・編集：小森はるか

“忘れたとかじゃなくて、ちょっと前を見るようになった。”
かつての町の上に新しい町が作られていく。
震災後の陸前高田でいくつもの声を届けたあるラジオ・パーソナリティの物語。

東日本大震災の後、約三年半にわたり「陸前高田災害FM」のパーソナリティを務めた阿部裕美さん。地域の人びとの記憶や思いに寄り添い、いくつもの声をラジオを通じて届ける日々を、カメラは親密な距離で記録した。津波で流された町の再建は着々と進み、嵩上げされた台地に新しい町が造成されていく光景が幾重にも折り重なっていく。失われていく何かと、これから出会う何か。時間が流れ、阿部さんは言う——忘れたとかじゃなくて、ちょっと前を見るようになった。

[上映日程] 9/18~24 (休映：9/21)



(C) KOMORI Haruka + SEO Natsumi

二重のまち/交代地のうたを編む

[2019年/日本/79分] 出演：古田春花、米川幸利オン、坂井運香、三浦碧至 監督：小森はるか + 潮尾夏美

かつてのまちの上に あたらしいまちがつくられた
そこへ、四人の旅人がやってくる
ちいさな〈継承〉のはじまり、はじまり

2018年、4人の旅人が陸前高田を訪れる。まだ若いかれらは、“あの日”の出来事から、空間的にも時間的にも、遠く離れた場所からやって来た。大津波にさらわれたかつてのまちのことも、嵩上げ工事の後につくられたあたらしいまちのことも知らない。旅人たちは、土地の風景のなかに身を置き、人びとの声に耳を傾け、対話を重ね、物語「二重のまち」を朗読する。他者の語りや聞き、伝え、語り直すという行為の丁寧な反復の先に、奇跡のような瞬間が立ち現れる。

[上映日程] 9/11~24 (休映：9/21)

豊田利晃監督 「狼蘇山3部作」上映

2019年『狼煙が呼ぶ』、2020年『破壊の日』、そして2021年、身体と魂を震わせる極音映画の最新形『全員切腹』が東京オリンピックで揺れる夏を再び赤く染めあげる！26分のカクゴ！

[上映日程] 9/25~10/8 (休映：9/27、10/4)

[鑑賞料金] 狼蘇山3部作をご鑑賞のお客様は3本で¥1,800* その他通常通り



©IMAGINATION

狼煙が呼ぶ

[2019年/日本/16分] 出演：浪川清彦、浅野忠信、高良健吾、松田龍平、中村達也、伊藤雄和（オールディックフォギー）、仲野茂（アナキー）、村上正人（アスフォート）、切腹ピストルズ、MIU 企画・プロデューサー・監督・脚本・編集：豊田利晃 音楽：切腹ピストルズ

“16分のカクシン。”

ある少女が家の蔵で見つけた古びた一丁の拳銃。少女が手にしたその拳銃から、拳銃をめぐるさまざまな過去の因果がよみがえってくる。



©「破壊の日」製作委員会

破壊の日

[2020年/日本/56分] 企画・監督・脚本：豊田利晃 出演：浪川清彦、マヒトゥ・ザ・ピーポー、イッセー尾形、長澤樹、大西信満、和田光沙、飯田団紅、塚塚洋介、松田龍平 音楽：GEZAN、照井利幸、切腹ピストルズ、MARS89 エグゼクティブプロデューサー：豊田利晃、行定勲

“それぞれの祈り それぞれの目覚め”

修験道者の賢一は生きたままミイラになりこの世を救うという究極の修行、即身仏になろうと消息を絶つ。ある日、賢一は「物の怪に取りつかれた世界をはらう」と目を覚まし……。



©豊田組

全員切腹

[2021年/日本/26分] 出演：窪塚洋介、浪川清彦、手塚悠、ユキヨウイチ、飯田団紅 監督・脚本・企画・プロデューサー：豊田利晃 音楽：切腹ピストルズ 中込健太（鼓童）住吉佑太（鼓童）照井利幸 中村達也 ヤマジカズヒデ Mars89

“世が世なら、おまえら全員切腹だ”

物語は明治初期。ある流れ者の浪人の侍が、「井戸に毒を撒いて疫病を広めた罪」で切腹を命じられる。果たして、その侍は……。

COMING SOON

10/2『ミス・マルクス』『子供はわかってあげない』『キツツキと雨』『恋の病 深瀬なふたりのピフォーアフター』、10/9『ショック・ドゥ・フューチャー』『ココ・シャネル 時代と闘った女』『シンプルな情熱』、10/15『かそけきサンカヨウ』、10/16『ジュゼップ 戦場の画家』『返校 言葉が消えた日』、10/23『うみべの女の子』『モロッコ、彼女たちの朝』『デニス・ホー ピカミン・ザ・ソング』、10/30『アイダよ、何処へ?』『浜の朝日の嘘つきどもと』『ウルフウォーカー』（日本語吹替版）、11/6『没後20年 作家主義 相米慎二 アジアが見た、その映像世界』、11/20『Shari』『Our Friend/アワー・フレンド』（順次）『ノーマン・ザ・スノーマン』シリーズ『ライトハウス』『名もなき歌』『君は永遠にそいつらより若い』『カラミティ』『恐るべき子供たち4Kレストア版』『草の響き』『リトル・ガール』『ローラとふたりの兄』『偶然と想像』.....and more

「週末こども映画館」9月は親子で楽しめる世界の傑作アニメーションをお届け！いずれの作品も小学校低学年のお子様からお楽しみいただけます。



© Aparte Film, Sacrebleu Productions, Mind's Meet

マロナの幻想的な物語り

[2019年/ルーマニア・フランス・ベルギー/日本語/92分] 日本語版キャスト:のん、小野友樹、平川新士、夜道雪 監督:アンカ・ダミアン

幸せはほんのちっぽけなこと

ハート型の鼻をした雑種犬のマロナは、血統書付きの母と少々気の荒い父の間に、9匹の子犬たちの末っ子として生まれる。便宜上「ナイン」と呼ばれていたマロナは生まれて間もなく家族と別れ、曲芸師のマノレに引き取られる。大好きなマノレに「アナ」と名付けられたマロナは幸福に暮らしていたが、ある日、自分から彼の元を去る決意をする。

[上映日程] 9/4-5, 11-12, 18-19, 25-26 全日程日本語吹替版です



©2021「漁港の肉子ちゃん」製作委員会

漁港の肉子ちゃん

[2021年/日本/96分] 企画・プロデュース:明石家さんま 出演:大竹しのぶ、Cocomi、花江夏樹、中村育二、石井いづみ、山西惇、八十田勇一、下野紘、マツコ・デラックス、吉岡里帆 原作:西加奈子「漁港の肉子ちゃん」(幼冬舎文庫) 監督:渡辺歩

“普通が一番ええのやで”肉子ちゃんが幸せ届けます。

食いしん坊で能天気な肉子ちゃんは、情に厚くて惚れっぽいから、すぐ男にだまされる。一方、クールでしっかり者、11歳のキッコは、そんな母・肉子ちゃんが最近ちょっと恥ずかしい。そんな訳あり母娘の秘密が明らかになると、二人に最高の奇跡が訪れる——！

[上映日程] 9/11-24 (休映:9/13, 21)



©Les Armateurs / Production Champion Vivi Film / France 3 Cinéma / RGP France / Sylvain Chomet

ベルヴィル・ランデブー

[2002年/フランス・カナダ・ベルギー/80分] 監督・脚本:絵コンテ・グラフィックデザイン:シルヴァン・ショメ

“ピンチもへっちゃら 愛さえあれば”

21世紀フランス・アニメーション伝説の傑作

内気で孤独な少年チャンピオンは自転車レーサーに憧れていた。やがて、成長して世界最高峰の自転車レース、ツール・ド・フランスの出場選手となるまでに至った彼は、晴れのレースの最中、謎のマフィアに誘拐されてしまう。

[上映日程] 9/18-10/1 (休映:9/27)

【鑑賞料金】週末こども映画館 選定/推薦作品につき、高校生以下¥500 / お子様連れの大人の方1名1,200円 *その他通常通り *『マロナの幻想的な物語り』については、一般¥1,500です。

【注意事項】一般の大人の皆様もご鑑賞頂けますが、笑い声や泣き声といった子どもたちの感情表現にご理解とご協力をお願いいたします。



© 2020 FILMOSA Production All rights

親愛なる君へ

[2020年/台湾/106分] R18+ 監督・脚本:チェン・ヨウジェ 出演:モー・ズーイー、ヤオ・チュエンヤオ、チェン・シューフアン、パイ・ルンイン

“愛するが故に言えないことがある。”

君が生きていてくれたら…僕はただ、大好きな君を守りたかった——。老婦・シウユーの介護と、その孫のヨウユーの面倒をひとりで見守る青年・ジェンイー。血のつながりもなく、ただの間借り人のはずのジェンイーがそこまで尽くすのは、今は亡き同性パートナーの家族であるふたりの世話をすることで、彼への何よりの弔いになると感じていたからだ。しかし、ある日、シウユーが急死してしまう。その死因を巡り、ジェンイーは不審の目で見られるようになる。警察の捜査によって不利な証拠が次々に見つかり、終には罪を認めなければならない。だがそれはすべて、愛する“家族”を守りたい一心で選択したことだった…

[上映日程] 9/4-17 (休映:9/6)



© LES IMPRODUCTIBLES, KALY PRODUCTIONS et CHARADES PRODUCTIONS

シャイニー・シュリンプス！ 愉快で愛しい仲間たち

[2019年/フランス/103分] PG-12 監督・脚本:セドリック・ル・ギャロ、マキシム・ゴヴァール 出演:ニコラ・ゴブ、アルバン・ルノワール、ミカエル・アピブル、デイヴィッド・パイオット、ロマン・ランクリン、ローランド・メノウ、ジェフリー・クエット、ロマン・ブロー、フェリックス・マルティネス

“人生楽しんだもん勝ち！”

元オリンピック銀メダリストの水泳選手マチアスは、同性愛者に対する心ない発言への罰として、ゲイのアマチュア水球チーム「シャイニー・シュリンプス」のコーチに就任する。マチアスに課されたミッションは、弱小チームの彼らを3カ月後に開催される世界最大のLGBTQ+五輪「ゲイゲームズ」に出場させること。パーティ好きで勝ち負けにこだわらない個性的なメンバーたちをまとめあげるべく、悪戦苦闘するマチアスだったが……。

[上映日程] 9/4-17 (休映:9/6, 13)



(c) 2019, Vivo film - tutti i diritti riservati

わたしはダフネ

[2019年/イタリア/イタリア語/94分] 監督・脚本:フェデリコ・ボンディ 出演:カロリーナ・ラスパンティ、アントニオ・ピオヴァネッリ、ステファニア・カッシーニ、アンジェラ・マグニ、ガブリエレ・スピネッリ、フランチェスカ・ラビ

“あなたとなら、信じられる。世界はやさしさに満ちている、と。”

ダフネは快活で社交的なダウン症の女性。スーパーで働きながら、母マリア、父ルイジと平穏に暮らしていた。しかしマリアに突然の死が訪れ生活が一変。年老いたルイジは自分が死んだら娘が独り残されてしまう、と不安に苛まれてふさぎ込んでしまう。ある日、ダフネは、母の生まれた村を訪れてみようという提案。その旅は、愛する人の死を乗り越え、お互いを理解し合うための、かけがえのないものになっていく…。ダフネは教えてくれる。大事なものは、“自分を好きになること。人を信じること。”だと。

[上映日程] 9/25-10/8 (休映:9/27, 10/4)



Carl Van Vechten photographs/Beinecke Library © Van Vechten Trust / REP Documentary

BILLIE ビリー

[2019年/イギリス/英語/B&W・カラー/98分] 脚本・監督:ジェームズ・エルスキン

“20世紀最高のシンガーは、誰よりも優雅で誰よりも孤独だった。”

ジャズシンガー、ビリー・ホリデイのドキュメンタリー。人種差別と闘い、酒と薬におぼれて身心がボロボロになりながらもステージに立ち続けたビリー・ホリデイだったが、その人生には謎に包まれた部分が多い。そんな彼女の生きざまに共感したジャーナリストが、10年かけて関係者にインタビューを重ねた録音テープが、近年になって発見された。映画は、その貴重な証言テープをもとに構成。知られざるビリーの素顔を明らかにする。また、彼女の歌唱シーンを最新技術を駆使したカラー映像でよみがえらせた。

[上映日程] 9/25-10/8 (休映:10/4)

生誕 260年 絵師・葛飾北斎のすべて



©2020 HOKUSAI MOVIE

HOKUSAI

[2020年/日本/129分] 出演:柳楽優弥、田中泯、玉木宏、瀧本美織、津田寛治、青木崇高、辻本祐樹、浦上晟周、宇生悠、河原れん、城桧吏、永山瑛太、阿部寛 監督:橋本一

“絵で世界は変わるのか？”

描き続けた生涯、今明かされる、北斎のすべて。

町人文化が華やぐ江戸の町の片隅で、食うこともままならない生活を送っていた貧乏絵師の勝川春朗。後の葛飾北斎となるこの男の才能を見いだしたのが、喜多川歌麿、東洲斎写楽を世に出した希代の版元・葛屋重三郎だった。重三郎の後押しにより、その才能を開花させた北斎は、彼独自の革新的な絵を次々と生み出し、一躍、当代随一の人気絵師となる。その奇想天外な世界観は江戸中を席巻し、町人文化を押し上げることとなるが、次第に幕府の反感を招くことになってしまう。

[上映日程] 9/11-24 (休映:9/13, 21)



(C) 2014-2015 杉浦日向子・MS.HS/「百日紅」製作委員会

百日紅 ~Miss HOKUSAI~

[2015年/日本/90分] 声の出演:杏、松重豊、濱田岳、高良健吾、立川談春監督:原恵一 原作:杉浦日向子「百日紅」

お栄23歳。職業、浮世絵師。父、葛飾北斎。江戸に恋する、浮世を描く！

女浮世絵師・お栄は、父であり師匠でもある北斎とともに絵を描いて暮らしている。雑然とした家に集う善次郎や国直と騒いだり、離れて暮らす妹・お猶と出かけたたりしながら江戸の四季を謳歌している。恋に不器用なお栄は、絵に色気がないと言われ落ちこむが、絵を描くことはあきらめない。そして百日紅が咲く季節が再びやってくる、嵐の予感とともに……。

[上映日程] 9/11-24 (休映:9/13, 21)

【鑑賞料金】一律¥1,500

*映劇特別会員及び22歳以下のお客は¥1,000 *特別興行のため、その他各種割引サービスの一切が適用外となります。

メジャーデビュー30周年 フィッシュマンズのすべて



©THE FISHMANS MOVIE 2021

映画：フィッシュマンズ

[2021年/日本/172分] 出演:佐藤伸治、茂木欣一、小嶋謙介、柏原謙、HAKASE-SUN、HONZI、関口「DARTS」道生、木暮晋也、小宮山聖、ZAK、UA、ハナレグミ、YO-KING (真心ブラザーズ)、原田郁子 (クラムボン) ほか 監督:手嶋悠貴

“音楽はマジックを呼ぶ”

2019年2月の「閻魂 2019」のリハーサルから撮影を開始し、明治学院大学ソング・ライツ部室、渋谷 La.mama、渋谷クラブクアトロ、三軒茶屋クロスロードスタジオ、VIVID SOUND STUDIO、日比谷野外音楽堂をはじめメンバーとゆかりの地を訪れインタビューを敢行。今まで多くを語るこのことなかった現・旧メンバーがカメラの前で当時の事を振り返るほか、関係者が大切に保管していた100本以上のVHSなどの素材をデジタル化した本邦初の映像を多数収録。

[上映日程] 9/7-24

【鑑賞料金】一律2,500円(各種割引適用外)



©2006 東映ビデオ

THE LONG SEASON REVUE

[2006年/日本/110分] 出演:茂木欣一、柏原謙、HONZI、関口「Darts」道生、木暮晋也、沖祐市、山崎まさよし、U.A.、ハナレグミ、原田郁子、蔡忠浩、監督:川村ケンスケ 音楽監修:ZAK

すばらしくて、ナイス・チョイスな音楽がここにある！フィッシュマンズ、奇跡の再会の物語。まったく新しいロックムービーの誕生！

2005年8月20日、「RISING SUN ROCK FESTIVAL in EZO」のステージにて、フィッシュマンズは復活を果たした。様々なゲストヴォーカルを交えて繰り広げられたステージは、彼らを知らない世代と人々に強い衝撃を与えた。更に同年11月には、「THE LONG SEASON REVUE」と銘打ったライブツアーを敢行。これらのライブ映像をはじめ、過去の映像やインタビュー、パフォーマンスなどを交えて、新たな「フィッシュマンズ」像を再構築していく。

[上映日程] 9/11-24



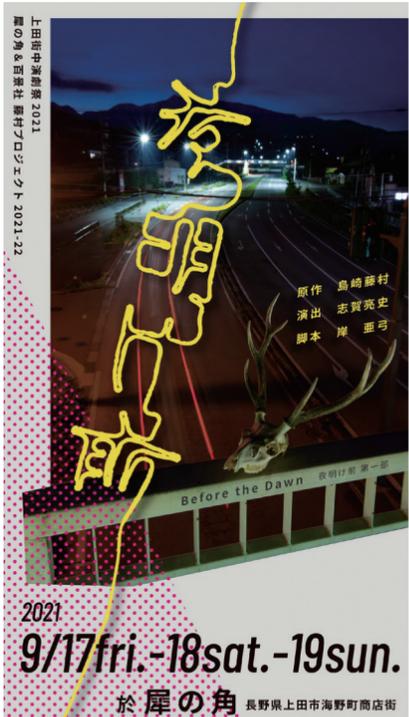
特集 『Before the Dawn 夜明け前 第一部』

上田街中
演劇祭
2021

木曾路を舞台にした島崎藤村の長編小説「夜明け前」に、犀の角と百景社が挑む。

**東京五輪後の世に問いかける、
日本にとっての「夜明け」とは。「街道」とは。**

今年で5周年を迎える「犀の角」は、劇場開設当初から茨城県土浦市の劇団百景社と連携してきました。コロナ禍により創作活動や上演に制限がかかるなか、信州にゆかりの深い文豪・島崎藤村の木曾路を舞台にした歴史長編小説「夜明け前」を取り上げ、敢えて2年間という時間をかけて作品に向かい合うクリエイションを行っています。演出に百景社から志賀亮史氏、俳優に山本晃子氏を迎え、関西から上田に移住した平成生まれの劇作家・岸亜弓が脚本を執筆、長野県内で活動する若手の俳優・スタッフを中心としたキャストिंगでお贈りします。幕末から明治にかけて急速に近代化する時代の中で翻弄されつつ、やがて世間から取り残されていく馬籠宿本陣当主・青山半蔵の生涯と中山道が犀の角に立ち上がります。



2021
9/17fri.-18sat.-19sun.
於犀の角 長野県上田市海野町商店街

演出：志賀亮史（百景社）
原作：島崎藤村（「夜明け前 第一部」）
脚本：岸亜弓
出演：寺下雅二、永峯克将、山崎到子、
山本晃子（百景社）、小林風生子 他
舞台監督：村上梓
舞台美術デザイン：志賀亮史
舞台美術装飾：草深将雄
照明：伊藤茶色
宣伝美術：大沢夏海（わいきき制作室）
撮影：安德希仁
制作：根岸佳奈子（百景社）
プロデューサー：荒井洋文

あらすじ

幕末の中山道馬籠宿。本陣の家に生まれた青山半蔵は、父・吉左衛門から家督を譲られる。黒船来航を皮切りに、安政の大獄、和宮の御降嫁、生麦事件、天狗党の乱、と日本にさまざまな事件が起こり、大政奉還へと向かう時代の変化のなかで、半蔵は国学に出会い、次第に専心していく。そして徳川時代の象徴とも言われた参勤交代が廃止され、次第に宿場が衰退していくなか、いよいよ半蔵の心は乱れていく。

【日程】 9月17日(金) 19:00
9月18日(土) 13:00 / 19:00
9月19日(日) 14:00



ご予約はこちら↑

【会場】 犀の角（上田中央2丁目11-20）

【チケット】 一般 2,500円 / U-22 1,500円

お酒で楽しむ「夜明け前」



辰野町の〈株式会社小野酒造店〉さんにご協賛を頂いている今作。2年間続くクリエイション期間に合わせて、犀の角カフェバーでは小野酒造さんイチオシの日本酒「夜明け前」を3種提供しています。味と匂いからも作品を楽しめる機会です。ぜひおためしくださいませ！

主催：上田街中演劇祭実行委員会 協賛：株式会社小野酒造店 企画制作：一般社団法人シアター&アーツうえだ
協力：百景社、海野町商店街振興組合、株式会社グラスブ、劇壇百羊箱、天空の芸術祭2021実行委員会、中牧浩一郎、野村政之、のきした、一般社団法人〇と編集社
後援：上田市、上田市教育委員会、中津川市、中津川市教育委員会、木曾町、木曾町教育委員会、長和町、藤村記念館
助成：文化庁「ARTS for the future!」補助対象事業

ご来場時に検温をさせていただきます。37.5度以上の場合は観劇をお断りさせていただきます。その他感染症対策についてはHPをご覧ください。

SAITSUNO COLUMN

初めて犀の角を訪れたのは、ちょうど開館準備をしているところだった。照明用のパイプの色塗りなどを手伝わせてもらって、新しい場ができることにワクワクしたのだった。その年の秋には、こけら落とし公演第4弾として「走れメロス」を上演させてもらった。犀の角の商店街に面した大きな窓が作品の可能性を広げてくれたのを覚えている。

昨年3月の初め頃だったろうか。犀の角で滞在制作をしないかと誘われて、ひとまず上田を訪れたのが、今回のプロジェクトの最初だったと思う。どんな題材を扱うか話し合い、島崎藤村はどうだろうか、となったのだった。そして「夜明け前」をやってみることにした。滞在させてもらうなら、忙しく作るのではなく、じっくりと時間をかけて作品を作れないかと思ったこともあるし、大きなテーマに取り組みたかったのかもしれない。

本当は2020年の秋頃に上演予定だったのだけれど、コロナの影響で1年の延期。今年の3月頭ようやくリサーチ等の活動を始めることになった。発起からほぼ1年経って、犀の角にはさまざまな変化が訪れていた。若いスタッフが集まり、新たなつながりが広がっていた。コロナの中、様々な工夫をした結果なのだと思う。このプロジェクトも20代の俳優、スタッフを中心とした編成でやることになった。

「夜明け前」は第一部上下巻、第二部上下巻という大長編だ。今回は第一部のみを扱う。まだ次の展開は分からないが来年以降第二部の制作も考えている。

主な舞台は江戸時代の五街道のひとつ、中山道のなかの馬籠宿。主人公の半蔵は馬籠宿の本陣を務める青山家の跡取り息子だ。ペリー来航から明治の世のおよそ30年ほどの時代を描く。

作品の軸となっているのは、当時の交通の要、街道だ。江戸時代の主要街道であった中山道が徳川時代の終わりとともにその役目を終え、鉄道といった新たな交通手段に移り変わり、かつての宿場は時代に忘れられ、消えていく。その栄枯盛衰は容赦ない。幕末や明治維新は、そこに関わった偉人たちの目線から語られることが多いが、島崎藤村は、時代の波にのみこまれ消えていった人たちや忘れられていった人たちの目線から描いた。小説の中で藤村自身が書いているが、下から歴史を見ようとする試みだ。

さてさて。コロナの影響は続き、今後の行き先もなかなか見えない。移動することさえ、ストレスを感じる世の中だ。どこまでもいけると思っていた世界は、急にどこにも行くのも大変な世に戻ってしまった。

今は足元こそ観る時期なのかもしれない。足元にも世界は、人生は、ある。頭上だけじゃなく、手を伸ばして触ろうとする世界だけではない、しゃがんで触れる世界だってある。「夜明け前」に取り組みながら、そう感じている。

Akifumi Shiga 百景社主宰・演出家。大学在学中に劇団「百景社」を旗揚げ、以後ほぼすべての百景社作品の演出を行う。2009年利賀演劇人コンクールで、優秀演劇人賞（演出）受賞。

志賀 亮史

予告

上田街中
演劇祭
2021

二口大学 × 広田ゆうみ「受付」
10月2日(土)~10月3日(日) 全3回公演

作 別役実
出演 広田ゆうみ 二口大学



詳細はこちら↑

笑って見ているうちになんだかおかしい所へ連れて行かれる二人芝居。日本における不条理劇の第一人者である別役実の、ほとんど古典と言っても良い戯曲を京都を拠点に活動を続ける俳優・広田ゆうみと二口大学が上演。「この道はいつか来た道」(2019年)、「いかけしごむ」(2020年)と続き犀の角で上演!

自習室お休みします。

9月14日(火)
~17日(金)
劇場貸切の為

上記以外にもお休みの可能性があります。犀の角HPまたはお電話でオープン日をお確かめください。

チケット及びお問い合わせ

犀の角 / シアター&アーツうえだ

〒386-0012 長野県上田中央2丁目11-20
TEL:0268-71-5221 info@sainotsuno.org
http://sainotsuno.org/



小諸市にある“町のお豆腐屋さん”です。木綿豆腐、おむすび味噌のほか、おぼろ豆腐、油揚げ、がんもどき、厚揚げ、豆乳、おからなどを製造・販売しています。お豆腐は大豆とニガリのみ、お味噌は大豆、米と大麦の混合麹、塩のみで作っているので、「薬師豆腐もめん」は、大豆の味が広がり、ずっしりとしていて食べごたえがあります。「がんもどき」も、鍋の具にはもちろん、醤油とみりんできっと煮ただけでも美味しくいただけますよ。消泡剤や酒精などは不使用



うつき屋
～卯の花作業所～

住所：小諸市加増谷地 742-4
営業時間：月～金 10:00～18:00
土 10:00～16:00 (不定休あり)
定休日：日・祝日
TEL：0267-25-2644



スタッフおすすめ

「水曜どうでしょう DVD 第16弾 72時間！
原付東日本縦断ラリー / シェフ大泉 夏野菜スペシャル」 [2011年/日本/288分]

タレント大泉洋さん出演のTV番組のDVD。とにかく、大泉さんたちとディレクター陣とのやりとりが面白い！なぜか、毎回だまされるんですね(笑)。何も考えずに見られます。私はよく、これを再生しながら眠りについています。中でもオススメなのが、この「シェフ大泉 夏野菜スペシャル」です。「最近、笑ってないな」って方はぜひ！(担当職員・太田猛)



「映画：フィッシュマンズ」

この映画をつくるためのクラウドファンディングのはじまりから、制作が決まったときには(映劇でやらないのかなあ、そしたらハンコ彫れるかなあ)とワクワクしていました。いよいよ上映が決まって映劇でやると聞いたときにはその喜びを会うひとと会うひとに話して、前売りを買って、映劇が始まったらすぐ行く気満々の心持ちでいたところ6月中旬、ひょんなご縁がころがって7月は山に働きに行くことになって、戻ってきてからもまだ間に合うぞと思いつつなんだかぜんぜん行けていませんでした。



上映最終日は「お店の営業かフィッシュマンズか」というところで、パカパーン！9月のアンコール上映が決まったそうでした。ありがたい。わたしも映劇で観ることができそうです。まだの方もまたの方も！さておき、いつもありがとうございます！

text = 高橋さとみ (コトバヤ店主・消しゴム版画家・365 出版所属)

タカハシハンコ店

「映劇はんこ」をつくらせてもらうようになり、数は500をこえました。映劇はんこの生まれたふんだけ、彫りクズも生まれます。いつもは書籠アルバムのブックレビューのこのスペース、おのむーの不在をどうしたものかとお声かけくださったもようです。

ARTS & CARES

NPO 法人リベルテ

街を歩くその先で眺める風景や、ふと手にとったペンで描く線、何気なく選んだ今日の服装も、大切な個性であり自由です。NPO 法人リベルテはそんな「何気ない自由」が生まれる表現と居場所づくりを障害のある人たちとともにを行っています。

住所：上田市中心4丁目7-23
営業時間：10:00～16:00
定休日：日・月曜日
http://npo-liberte.org



ちくわが ARTIS NOT TOOL. その拾五 トートバッグ作成しました THIS IS LIFE.

Dr.Drive 上田南 SS さまから依頼でキャンペーンのトートバッグをリベルテで制作しました。新型コロナウイルスの影響はアトリエにもあり、販売系のイベントがほとんどなくなり、グッズを販売する機会がほぼなくなってしまいました。自主企画や自主販売でも沢山上売がある訳ではないので、メンバーの工賃の収入が厳しい中、こうしたまとまった依頼をいただけるのは本当にありがたいです。今回のトートバッグはririによる「豆腐メンタルにつき取り扱い注意。」というフレーズが入ったトートバッグです。トートバッグの色は依頼主さまからの指定ですが、プリントカラーは「豆腐」色にしました。今回の依頼があり、アトリエのメンバーに向けて、イラスト募集しましたが、自虐ネタなのか座右の銘なのか、それとも何かのメッセージか。このイラストを候補に入れて提案して採用していただきました。プルプルしているような豆腐の上に座るキャラとこのフレーズが最高です。街中でこのバッグで買い物している人には優しくしてあげてください！



タイトル・S.S.G 文・武捨和貴(むしゃかずたか)

上田映劇 お得なチケットのお知らせ

上田映劇 特別会員
年間費 1万円

- ・シートオーナーになれる(劇場に専用シートを持てる)
- ・上田映劇特別会員専用、映劇手帳を発行。(有効期限は発行日より1年間)
- ・手帳ご提示で、当館の通常上映は、いつでも¥1,000(初回は無料)でご鑑賞いただけます。(但し特別興行作品、イベントにはご利用いただけません。)
- ・希望者には、上田映劇ジャーナルをご自宅に送付。

上田映劇回数券
3,900円 3枚綴り

- ・有効期間内1枚につき、1作品ご鑑賞いただけます。
- ・特別興行作品、イベントにはご利用いただけません。
- ・有効期間：販売日より3か月有効。

上田映劇 福利厚生券
1枚あたり1,200円
最低100枚から販売

- ・有効期間内1枚につき、1作品ご鑑賞いただけます。
- ・特別興行作品、イベントにはご利用いただけません。
- ・有効期間：販売日より1年間有効。・個人のお客様には販売していません。
- ・購入方法、購入枚数の相談など、詳しくは劇場にお問い合わせください。

フレフレ割
古本で映劇を応援！
1,500円

NPO 法人上田映劇は、地域のNPOを古本で応援する「FURE FURE BOOKS (フレフレブックス)」の活動に参加しています。ご家庭に眠っている古本を劇場にお持ちいただくと、その本は上田に本社がある古本買取販売会社のバリューブックスで査定・販売され、売り上げが上田映劇に寄付されます。ぜひみなさま、お家に眠っている古本をご寄付ください！

*鑑賞時に古本をお持ち頂くと、割引価格で映画をお楽しみいただけます。古本の他にもCDやDVD、ゲームなどもご寄付いただけます。詳しくは劇場までお問い合わせください。

映劇を自由に使って思い思いのイベントを開きませんか？

映画上映会はもちろん、ライブ・コンサートに講演会。客席250の映劇はみなさまの企画をカタチにするのにピッタリの大きさです。ホールレンタルの相談は随時承っております。会場をお探しの皆さま、ご相談はお気軽に劇場スタッフまで。

信州エコサービス 広告

猫の手 一般廃棄物収集運搬業許可1081 長野県公安委員会 古物商許可 481101400014

おすすめプラン

- 軽トラック1台丸ごと積み放題プラン 9,800円～最大25,000円まで
- 軽トラック2台丸ごと積み放題プラン 最大40,000円まで
- 2tトラック1台丸ごと積み放題プラン 最大60,000円まで

ホームページでなんでもお気軽にご相談ください！
お問い合わせフォームはこちら

0268-43-3050
〒386-0406 長野県上田市下丸子325 FAX 0268-43-3050
【営業時間】8:00～20:00(日曜・祝日・年末年始も対応) 【定休日】不定休
【HP】https://www.shinsyu-eco-service.com/

広告掲載 大募集！

毎月、月末に発行している上田映劇ジャーナルは、映画だけでなく、演劇や古本、街のあらゆるアートにつながる情報を掲載しています。現在広告を出してくださる企業・店舗・個人事業主の方を大募集中！料金や詳細は、お気軽に劇場スタッフまでご相談ください！

新型コロナウイルス感染拡大の状況や、その他諸事情により急遽中止・延期等させていただく場合がございます。その都度ホームページでお知らせ致します。ご来場前にご確認をお願いいたします。



レイトショー



放課後
シネマクラブ



週末こども
映画館



ファーストデイ



上映最終日



映劇休館日

28(土)	29(日)	30(月)	31(火)	9/1(水)	2(木)	3(金)
上田映劇 デモンアドベンチャー 9:30-10:11 わんぱく戦争(吹) 10:25-11:59 食の安全を守る人々 12:15-13:58 アニメーションの神様 その美しき世界 Vol.2&3 A: 川本喜八郎 5 作品 14:15-15:35 B: 岡本忠成 5 作品 15:45-17:03 東京自転車節 17:20-18:53 青柳拓監督 舞台挨拶 シュシュシュの娘 19:45-21:13	上田映劇 サマーウォーズ 10:00-11:54 待学園卒業フォーラム(貸館)	上田映劇 アニメーションの神様 その美しき世界 Vol.2&3 A: 川本喜八郎 5 作品 10:00~ B: 岡本忠成 5 作品 13:30~ *下記は予約不要 東京自転車節 15:55-17:28	上田映劇 アニメーションの神様、その美しき世界 Vol.2&3 A: 川本喜八郎 5 作品 9:30-10:50 / B: 岡本忠成 5 作品 11:00-12:18 食の安全を守る人々 12:30-14:13 東京自転車節 14:25-15:58 シュシュシュの娘 16:10-17:38 東京自転車節 17:50-19:23 シュシュシュの娘 19:35-21:03	上田映劇 アウシュヴィッツ・レポート 9:45-11:19 わんぱく戦争(字幕版) 11:30-13:04 きまじめ楽隊のぼんやり戦争 13:15-15:00 アウシュヴィッツ・レポート 15:15-16:49 わんぱく戦争(字幕版) 17:00-18:34 きまじめ楽隊のぼんやり戦争 18:45-20:30	上田映劇 わんぱく戦争(字) 9:05-10:39 アウシュヴィッツ・レポート 10:55-12:29 きまじめ楽隊のぼんやり戦争 12:45-14:30 アウシュヴィッツ・レポート 14:45-16:19 きまじめ楽隊のぼんやり戦争 16:35-18:20 ヤンヤン夏の思い出 18:35-21:28	上田映劇 わんぱく戦争(吹) 9:30-11:04 アウシュヴィッツ・レポート 11:20-12:54 きまじめ楽隊のぼんやり戦争 13:10-14:55 ヤンヤン夏の思い出 15:10-18:03 きまじめ楽隊のぼんやり戦争 18:20-20:05

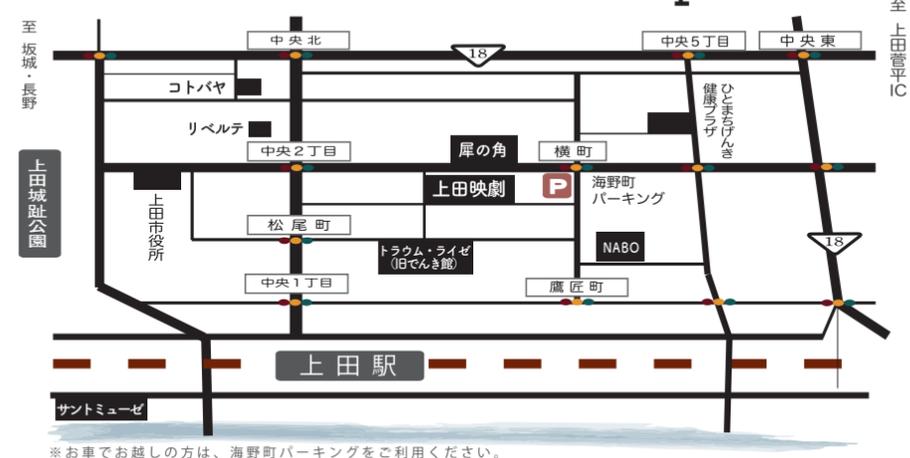
4(土)	5(日)	6(月)	7(火)	8(水)	9(木)	10(金)
上田映劇 親愛なる君へ 9:45-11:31 アウシュヴィッツ・レポート 11:45-13:19 親愛なる君へ 13:35-15:21 シャイニー・シュリンプス! 愉快で愛しい仲間たち 15:35-17:18 マノナの幻想的な物語り 17:35-19:07 シャイニー・シュリンプス! 愉快で愛しい仲間たち 19:20-21:03 わんぱく戦争(字) 9:30-11:04 わんぱく戦争(吹) 11:15-12:49 きまじめ楽隊のぼんやり戦争 13:00-14:45 東京自転車節 15:00-16:33 シュシュシュの娘 16:45-18:13 ヤンヤン夏の思い出 18:30-21:23	上田映劇 シャイニー・シュリンプス! 愉快で愛しい仲間たち 9:45-11:28 マノナの幻想的な物語り 11:45-13:17 シャイニー・シュリンプス! 愉快で愛しい仲間たち 13:30-15:13 親愛なる君へ 15:30-17:16 アウシュヴィッツ・レポート 17:30-19:04 親愛なる君へ 19:20-21:06 わんぱく戦争(吹) 9:30-11:04 わんぱく戦争(字) 11:15-12:49 きまじめ楽隊のぼんやり戦争 13:00-14:45 ヤンヤン夏の思い出 15:00-17:53 東京自転車節 18:05-19:38 シュシュシュの娘 19:50-21:18	上田映劇 親愛なる君へ 15:25-17:11 THE LONG SEASON REVUE 10:45-12:35 映画:フィッシュマンズ 13:00-15:52 二重のまち / 交代地のうたを編む 16:05-17:24	上田映劇 アウシュヴィッツ・レポート 9:30-11:04 親愛なる君へ 11:20-13:06 映画:フィッシュマンズ 13:25-16:17 アウシュヴィッツ・レポート 16:35-18:09 親愛なる君へ 18:25-20:11 シャイニー・シュリンプス! 愉快で愛しい仲間たち 10:10-11:53 わんぱく戦争(字幕版) 12:05-13:39 きまじめ楽隊のぼんやり戦争 13:50-15:35 東京自転車節 15:50-17:23 シュシュシュの娘 17:35-19:03 シャイニー・シュリンプス! 愉快で愛しい仲間たち 19:15-20:58	上田映劇 HOKUSAI 9:45-11:54 百日紅 ~Miss Hokusai~ 12:10-13:39 漁港の肉子ちゃん 13:55-15:32 マノナの幻想的な物語り 15:45-17:17 映画:フィッシュマンズ 17:30-20:22 シャイニー・シュリンプス! 9:30-11:13 親愛なる君へ 11:25-13:11 二重のまち / 交代地のうたを編む 13:25-14:44 息の跡 15:00-16:33 シャイニー・シュリンプス! 16:45-18:28 THE LONG SEASON REVUE 18:40-20:30	上田映劇 HOKUSAI 9:30-11:39 リバー・オブ・グラス 11:55-13:11 オールド・ジョイ 13:25-14:38 ウェンディ&ルーシー 14:55-16:15 ミークス・カットオフ 16:30-18:13 映画:フィッシュマンズ 18:30-21:22 二重のまち 9:45-11:04 空に聞く 11:15-12:28 百日紅~Miss Hokusai~ 12:40-14:09 ベルヴィル・ランデブー 14:20-15:40 漁港の肉子ちゃん 15:55-17:32 マノナの幻想的な物語り 17:45-19:17 LONG SEASON REVUE 19:30-21:20	上田映劇 HOKUSAI 9:30-11:39 ウェンディ&ルーシー 11:55-13:15 ミークス・カットオフ 13:30-15:13 リバー・オブ・グラス 15:30-16:46 オールド・ジョイ 17:00-18:13 映画:フィッシュマンズ 18:30-21:22 空に聞く 9:45-11:04 愛のように感じた 11:35-12:57 ベルヴィル・ランデブー 13:10-14:30 愛のように感じた 14:45-16:07

11(土)	12(日)	13(月)	14(火)	15(水)	16(木)	17(金)
上田映劇 HOKUSAI 9:45-11:54 百日紅 ~Miss Hokusai~ 12:10-13:39 漁港の肉子ちゃん 13:55-15:32 マノナの幻想的な物語り 15:45-17:17 映画:フィッシュマンズ 17:30-20:22 シャイニー・シュリンプス! 9:30-11:13 親愛なる君へ 11:25-13:11 二重のまち / 交代地のうたを編む 13:25-14:44 息の跡 15:00-16:33 シャイニー・シュリンプス! 16:45-18:28 THE LONG SEASON REVUE 18:40-20:30	上田映劇 HOKUSAI 9:30-11:39 リバー・オブ・グラス 11:55-13:11 オールド・ジョイ 13:25-14:38 ウェンディ&ルーシー 14:55-16:15 ミークス・カットオフ 16:30-18:13 映画:フィッシュマンズ 18:30-21:22 二重のまち 9:45-11:04 空に聞く 11:15-12:28 百日紅~Miss Hokusai~ 12:40-14:09 ベルヴィル・ランデブー 14:20-15:40 漁港の肉子ちゃん 15:55-17:32 マノナの幻想的な物語り 17:45-19:17 LONG SEASON REVUE 19:30-21:20	上田映劇 HOKUSAI 9:30-11:39 ウェンディ&ルーシー 11:55-13:15 ミークス・カットオフ 13:30-15:13 リバー・オブ・グラス 15:30-16:46 オールド・ジョイ 17:00-18:13 映画:フィッシュマンズ 18:30-21:22 空に聞く 9:45-11:04 愛のように感じた 11:35-12:57 ベルヴィル・ランデブー 13:10-14:30 愛のように感じた 14:45-16:07	上田映劇 THE LONG SEASON REVUE 10:45-12:35 映画:フィッシュマンズ 13:30-16:22 ベルヴィル・ランデブー 10:00-11:20 愛のように感じた 11:35-12:57 ベルヴィル・ランデブー 13:10-14:30 愛のように感じた 14:45-16:07	上田映劇 HOKUSAI 9:30-11:39 ミークス・カットオフ 11:55-13:38 リバー・オブ・グラス 13:55-15:11 オールド・ジョイ 15:25-16:38 ウェンディ&ルーシー 16:55-18:15 映画:フィッシュマンズ 18:30-21:22 空に聞く 9:45-10:58 二重のまち 11:10-12:29 百日紅~Miss Hokusai~ 12:40-14:09 ベルヴィル・ランデブー 14:20-15:40 漁港の肉子ちゃん 15:55-17:32 愛のように感じた 17:45-19:07 LONG SEASON REVUE 19:20-21:10	上田映劇 HOKUSAI 9:30-11:39 リバー・オブ・グラス 11:55-13:11 オールド・ジョイ 13:25-14:38 ウェンディ&ルーシー 14:55-16:15 ミークス・カットオフ 16:30-18:13 映画:フィッシュマンズ 18:30-21:22 空に聞く 9:45-11:04 空に聞く 11:15-12:28 百日紅~Miss Hokusai~ 12:40-14:09 ベルヴィル・ランデブー 14:20-15:40 漁港の肉子ちゃん 15:55-17:32 愛のように感じた 17:45-19:07 LONG SEASON REVUE 19:20-21:10	上田映劇 HOKUSAI 9:30-11:39 オールド・ジョイ 11:55-13:08 ウェンディ&ルーシー 13:25-14:45 ミークス・カットオフ 15:00-16:43 リバー・オブ・グラス 17:00-18:16 オールド・ジョイ 17:00-18:13 映画:フィッシュマンズ 18:30-21:22 空に聞く 9:45-10:58 二重のまち 11:10-12:29 百日紅~Miss Hokusai~ 12:40-14:09 ベルヴィル・ランデブー 14:20-15:40 漁港の肉子ちゃん 15:55-17:32 愛のように感じた 17:45-19:07 LONG SEASON REVUE 19:20-21:10

18(土)	19(日)	20(月)	21(火)	22(水)	23(木)	24(金)
上田映劇 HOKUSAI 9:30-11:39 リバー・オブ・グラス 11:55-13:11 オールド・ジョイ 13:25-14:38 ウェンディ&ルーシー 14:55-16:15 ミークス・カットオフ 16:30-18:13 映画:フィッシュマンズ 18:30-21:22 二重のまち 9:45-11:04 空に聞く 11:15-12:28 百日紅~Miss Hokusai~ 12:40-14:09 ベルヴィル・ランデブー 14:20-15:40 漁港の肉子ちゃん 15:55-17:32 マノナの幻想的な物語り 17:45-19:17 LONG SEASON REVUE 19:30-21:20	上田映劇 HOKUSAI 9:30-11:39 オールド・ジョイ 11:55-13:08 ウェンディ&ルーシー 13:25-14:45 ミークス・カットオフ 15:00-16:43 リバー・オブ・グラス 17:00-18:16 オールド・ジョイ 17:00-18:13 映画:フィッシュマンズ 18:30-21:22 空に聞く 9:45-10:58 二重のまち 11:10-12:29 百日紅~Miss Hokusai~ 12:40-14:09 ベルヴィル・ランデブー 14:20-15:40 漁港の肉子ちゃん 15:55-17:32 マノナの幻想的な物語り 17:45-19:17 LONG SEASON REVUE 19:30-21:20	上田映劇 HOKUSAI 9:30-11:39 ウェンディ&ルーシー 11:55-13:15 ミークス・カットオフ 13:30-15:13 リバー・オブ・グラス 15:30-16:46 オールド・ジョイ 17:00-18:13 映画:フィッシュマンズ 18:30-21:22 空に聞く 9:45-11:04 愛のように感じた 11:35-12:57 ベルヴィル・ランデブー 13:10-14:30 愛のように感じた 14:45-16:07	上田映劇 THE LONG SEASON REVUE 10:45-12:35 映画:フィッシュマンズ 13:30-16:22 ベルヴィル・ランデブー 10:00-11:20 愛のように感じた 11:35-12:57 ベルヴィル・ランデブー 13:10-14:30 愛のように感じた 14:45-16:07	上田映劇 HOKUSAI 9:30-11:39 ミークス・カットオフ 11:55-13:38 リバー・オブ・グラス 13:55-15:11 オールド・ジョイ 15:25-16:38 ウェンディ&ルーシー 16:55-18:15 映画:フィッシュマンズ 18:30-21:22 空に聞く 9:45-10:58 二重のまち 11:10-12:29 百日紅~Miss Hokusai~ 12:40-14:09 ベルヴィル・ランデブー 14:20-15:40 漁港の肉子ちゃん 15:55-17:32 愛のように感じた 17:45-19:07 LONG SEASON REVUE 19:20-21:10	上田映劇 HOKUSAI 9:30-11:39 リバー・オブ・グラス 11:55-13:11 オールド・ジョイ 13:25-14:38 ウェンディ&ルーシー 14:55-16:15 ミークス・カットオフ 16:30-18:13 映画:フィッシュマンズ 18:30-21:22 空に聞く 9:45-11:04 空に聞く 11:15-12:28 百日紅~Miss Hokusai~ 12:40-14:09 ベルヴィル・ランデブー 14:20-15:40 漁港の肉子ちゃん 15:55-17:32 愛のように感じた 17:45-19:07 LONG SEASON REVUE 19:20-21:10	上田映劇 HOKUSAI 9:30-11:39 オールド・ジョイ 11:55-13:08 ウェンディ&ルーシー 13:25-14:45 ミークス・カットオフ 15:00-16:43 リバー・オブ・グラス 17:00-18:16 オールド・ジョイ 17:00-18:13 映画:フィッシュマンズ 18:30-21:22 空に聞く 9:45-10:58 二重のまち 11:10-12:29 百日紅~Miss Hokusai~ 12:40-14:09 ベルヴィル・ランデブー 14:20-15:40 漁港の肉子ちゃん 15:55-17:32 愛のように感じた 17:45-19:07 LONG SEASON REVUE 19:20-21:10

25(土)	26(日)	27(月)	28(火)	29(水)	30(木)	10/1(金)
上田映劇 わたしはダフネ 9:55-11:29 Billie ビリー 11:40-13:18 ベルヴィル・ランデブー 13:35-14:55 狼煙が呼ぶ 15:10-15:26 破壊の日 15:35-16:31 全員切腹 16:40-17:06 わたしはダフネ 17:20-18:54 Billie ビリー 19:05-20:43 マノナの幻想的な物語り 9:30-11:02 日常対話 11:15-12:43 愛のように感じた 12:55-14:17 ウェンディ&ルーシー 14:30-15:50 ミークス・カットオフ 16:05-17:48 リバー・オブ・グラス 18:05-19:21 オールド・ジョイ 19:35-20:48	上田映劇 わたしはダフネ 9:55-11:29 Billie ビリー 11:40-13:18 わたしはダフネ 13:30-15:04 ベルヴィル・ランデブー 15:20-16:40 狼煙が呼ぶ 16:55-17:11 破壊の日 17:20-18:16 全員切腹 18:25-18:51 Billie ビリー 19:05-20:43 マノナの幻想的な物語り 9:30-11:02 日常対話 11:15-12:43 愛のように感じた 12:55-14:17 ミークス・カットオフ 14:30-16:13 リバー・オブ・グラス 16:30-17:46 オールド・ジョイ 18:00-19:13 ウェンディ&ルーシー 19:30-20:50	上田映劇 マノナの幻想的な物語り 10:00~13:30~ わたしはダフネ Billie ビリー 15:50-17:28 日常対話 10:30-11:58 愛のように感じた 13:00-14:22 日常対話 14:35-16:03 愛のように感じた 16:20-17:42	上田映劇 わたしはダフネ 9:25-10:59 Billie ビリー 11:10-12:48 わたしはダフネ 13:30-15:04 Billie ビリー 15:15-16:53 ベルヴィル・ランデブー 17:10-18:30 狼煙が呼ぶ 18:45-19:01 破壊の日 19:10-20:06 全員切腹 20:15-20:41 日常対話 10:00-11:28 愛のように感じた 11:40-13:02 リバー・オブ・グラス 13:15-14:31 オールド・ジョイ 14:45-15:58 ウェンディ&ルーシー 16:15-17:35 ミークス・カットオフ 17:50-19:33 愛のように感じた 19:45-21:07	上田映劇 わたしはダフネ 9:25-10:59 Billie ビリー 11:10-12:48 わたしはダフネ 13:30-15:04 Billie ビリー 15:25-17:03 ベルヴィル・ランデブー 17:20-18:40 狼煙が呼ぶ 18:55-19:11 破壊の日 19:20-20:16 全員切腹 20:25-20:51 日常対話 10:00-11:28 愛のように感じた 11:40-13:02 ウェンディ&ルーシー 13:15-14:35 ミークス・カットオフ 14:50-16:33 リバー・オブ・グラス 16:50-18:06 オールド・ジョイ 18:20-19:33 愛のように感じた 19:45-21:07	上田映劇 わたしはダフネ 9:25-10:59 Billie ビリー 11:10-12:48 わたしはダフネ 13:30-15:04 Billie ビリー 15:25-17:03 ベルヴィル・ランデブー 17:20-18:40 狼煙が呼ぶ 18:55-19:11 破壊の日 19:20-20:16 全員切腹 20:25-20:51 日常対話 10:00-11:28 愛のように感じた 11:40-13:02 ウェンディ&ルーシー 13:15-14:35 ミークス・カットオフ 14:50-16:33 リバー・オブ・グラス 16:50-18:06 オールド・ジョイ 18:20-19:33 愛のように感じた 19:45-21:07	上田映劇 Billie ビリー 8:45-10:23 狼煙が呼ぶ 10:35-10:51 破壊の日 11:00-11:56 全員切腹 12:05-12:31 ベルヴィル・ランデブー 12:45-14:05 わたしはダフネ 14:20-15:54 Billie ビリー 16:05-17:43 わたしはダフネ 18:30-20:04 日常対話 10:00-11:28 愛のように感じた 11:40-13:02 ミークス・カットオフ 13:15-14:58 リバー・オブ・グラス 15:15-16:31s オールド・ジョイ 16:45-17:58 ウェンディ&ルーシー 18:15-19:35 愛のように感じた 19:50-21:12

access map



※お車で越しの方は、海野町パーキングをご利用ください。

鑑賞料金	各種割引
一般 1,900円 シニア(60歳以上) 1,200円 大学生(要学生証) 1,000円 高校生以下 500円 上田映劇特別会員 1,000円 回数券 3枚綴り(3ヶ月有効) 3,900円	ファーストデイ(毎月1日) 1,200円 フレフレ割* 1,500円 リピーター割 1,100円 パートナー50割 2,400円 障がい者割引 1,000円 レイトショー 1,300円 *フレフレ割:不要になった書籍・CD・DVD、計5つ以上ご寄付ください。ご寄付いただいた当日のみ有効。

◆全席自由席/各回完全入れ替え制です。また、作品により料金が異なる場合がございます。
 ◆駐車券サービス: ¥1,900を超えた場合、海野町パーク駐車場の2時間分無料券進呈します。
 ◆¥1,900未満の場合は海野町パーク駐車場1時間分無料券進呈となります。その他、詳しくは劇場窓口へ。
 ◆映画のスケジュール紹介は万全を期しておりますが、変更となる場合がございます。
 あらかじめご了承ください。ご確認は、当館HPまたは、お電話にてお問い合わせください。

上田映劇 〒386-0012 長野県上田市中央2丁目12-30
 tel: 0268-22-0269
 http://www.uedaigeki.com

fb.com/uedaigeki / (フェイスブック)
 https://twitter.com/uedaigeki (ツイッター)
 https://www.instagram.com/uedaigeki/ (インスタグラム)

Planning&Direction: Satoru HARA / Edit&Design: Megumi NAOI
 2021.9.1 / 発行部数: 1500部 (毎月最終土曜日発行)

